

SGI® Infinite Media Library™

特長

クライアント/サーバ環境

- ・ e-コマースに対応、XMLでの出力も可能
- ・ 複数の地域に分散したリポジトリをサポート
- ・ LANおよびWAN上でのデジタルアセット管理を行う Dynamic Transfer Manager
- ・ ユーザのリポジトリへのアクセスを管理
- ・ サブフォルダ利用をサポート
- ・ 多岐にわたるファイルフォーマットをサポート
- ・ フレキシブルに構成可能な、ユーザ定義したメタデータ用のデータモデル
- ・ バージョン管理をサポート
- ・ 自動的にサムネイルを生成
- ・ シンプルかつ高度なカスタムクエリー
- ・ ユーザおよびグループのセキュリティレベルを個別に定義可能
- ・ SGI Media Serverの放送用アセットのアーカイブをサポート
- ・ 強化されたダイナミックアセットクエリー言語によるWebベースの管理ツール
- ・ Windows®およびMacintosh®のクライアントを開発可能

ソフトウェア開発ツール

- ・ モジュラー方式を採用
- ・ Asset Management Protocol (AMP)のプラットフォームおよびプログラミング言語に依存しないコマンドセット
- ・ テキストおよび画像検索エンジン用のフック搭載
- ・ プラグインの組み込みも可能

大きなメリットをもたらすソリューション

SGI Infinite Media Library(Infinite ML)は企業レベルでコラボレーティブにデジタルアセットの管理が可能なトータルソリューションです。コンテンツの制作や送信、配信をより円滑に管理したいとお考えの組織に、様々なメリットをもたらします。従来のパッケージ・アプリケーションと異なり、Infinite MLはさらに多様な性能を付加することで、デジタルコンテンツの管理を大企業レベルで行えるように機能を拡張することが可能です。SGIの誇るこのソリューションには、以下のような特長があります：

- ・ 組織が世界中に分散し、複数のプラットフォームを通じて利用する際にもシームレスな拡張を行える高いスケーラビリティ
- ・ 光ファイバーによる強力な広範囲のネットワークでのコンテンツ共有機能
- ・ 現在利用しているデジタルアセット管理ソフトウェアとの迅速な統合

また、安定性の高いSGI Infinite MLの Asset Management Protocol (AMP)によって、ソフトウェア開発企業やアプリケーションサービスプロバイダ、さらに各企業のIT部門は、製品の開発や発表までに要する時間を大幅に削減できるようになるのです。

高度なスケーラビリティ：ビジネスの成長にあわせてその時々に必要なシステムへ拡張

SGI Infinite MLを利用して、デジタルアセットの保管、保護そして管理を行う場合、始めからマスタープランを実行するための設備すべてを揃える必要はありません。Infinite MLは高いフレキシビリティとスケーラビリティを誇り、その時点でもっとも業務に必要なシステムだけを考慮して、その規模に合ったレベルのソリューションを導入できるように配慮されています。後にビジネスの拡大によるニーズの変化にあわせて組織内のデジタルアセット管理ソリューションを強化したり拡大することができよう設計されているのです。

またInfinite MLでは、お客様のデジタルアセットを組織内のグループ間で共有・保護することができ、システム管理者もすべてのクライアントからデジタルアセットをリポジトリ間で転送したり、管理を行うことが可能となっています。

高度な管理性とコンフィギュレーション

Infinite MLでは、オリジナルおよび変更が加えられたものも含め、あらゆるデジタルアセットの管理を行うことができます。またテキストファイルからメディアストリーミング用のファイルまで、様々なフォーマットのデジタルアセットを一括して管理できるように配慮されているのです。

SGI Infinite MLでは、お客様がご利用の環境に最適なテクノロジーを活用してシステムを集中化できるように、コンフィギュレーションの容易さを追求しています。Infinite MLには以下のような最新のテクノロジーが導入されています：

- ・ 一般的なメディアフォーマットにおける自動カタログ化とサムネイルの生成
- ・ サポートしていないメディアフォーマットの特定とサムネイルの生成を行うプラグインの組み込み機能
- ・ アセットに変更が加えられる毎に履歴を記録するバージョン管理機能
- ・ デジタルアセットのメタデータ属性を明確に識別するためのデータモデリング機能
- ・ ファイルシステム、ストリーミングビデオサーバ、オーディオサーバ、階層型ストレージ管理システム、その他のストレージ機器など様々なコンテンツサーバへのアクセス

SGI Media Broadband Solution

New Generation
Asset Management

Ultimate Quality
Content Creation



Infinite
Delivering Capability



デジタルアセットの容易な管理と有効活用

SGI Infinite MLでは、WindowsやMacintoshのワークステーションとシステムの統合が容易に開発が可能で、デジタルアセットの保管、共有、検索および再生を行うことができます。クライアントはグループや施設に渡ったデジタルアセットへのアクセスを個別に定義され、クエリーやアセットの関係性をもとにデジタルアセットを収集するといった活用が可能です。

Web インターフェイスによる容易な管理オペレーション

SGI Infinite MLはWebベースの管理ツールを搭載しており、サーバおよびクライアントに対する安全かつ信頼性の高いシステムの管理を行うことが可能です。システム管理者やデジタルアセットのアーカイブ責任者は、ネットワーク上のどのデスクトップからでもデジタルアセットを利用するユーザ、グループおよびリポジトリを管理可能で、またリポジトリ間のデジタルアセット転送やシステムのチェックやログの確認も行うことが出来るのです。

AMP によるオープンな開発アーキテクチャ

SGI Infinite MLのAMPでは、プログラミング言語やプラットフォームに依存しないオープンなアーキテクチャを採用しており、アプリケーションやサービスを開発するデベロッパーがそれぞれの環境において開発に取り組むことが可能です。Infinite MLのソフトウェア開発ツールには、ライブラリの他にデジタルアセットの識別、収集、保管、閲覧、クエリー化および保護を行うためのツールが用意されています。またプラグインを組み込み可能なアーキテクチャにより、ワークフローやメディアの内容の改変などが行えるようにカスタマイズすることが可能です。このようにソフトウェア開発のフレームワークを広い範囲で確保することで、Infinite MLに対応したソリューションの構築及び統合を容易に行うことが可能となり、強力なシステムへと常に進歩していくことになるのです。

SGI® Infinite Media Library™

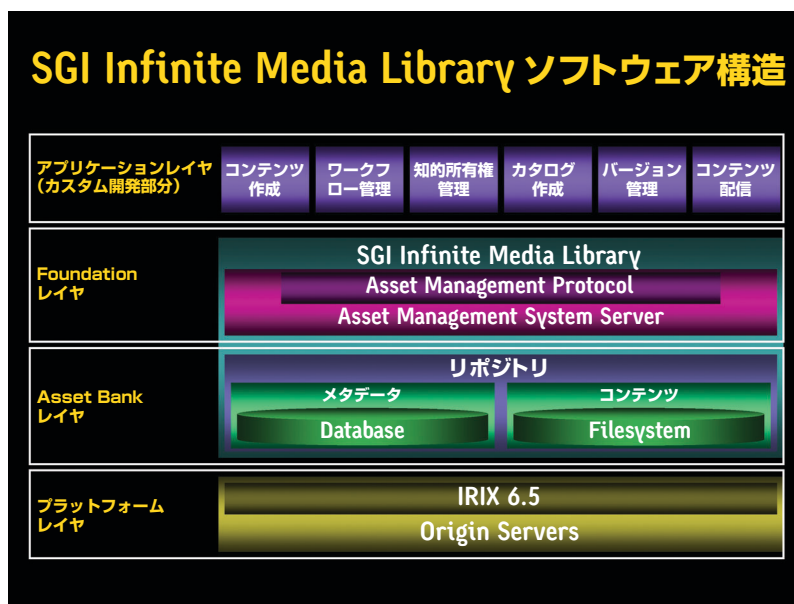
技術仕様

サーバ環境

- ・ IRIX® 6.5.14以降、各プロセッサあたり256MB以上のRAM、Infinite MLサーバ用に300MB以上のディスク領域、メタデータ用に200MB以上のディスク領域、およびコンテンツ用に1GB以上のディスク領域が必要

ソフトウェア開発用ツール

- ・ AMPは、以下のネットワークベースのクライアントESをサポートしています:Windows、Mac OS、IRIX 6.5以降を含むネットワークベースのクライアントOS用
- ・ プラグインアーキテクチャ



©2002 SGI Japan, Ltd. All rights reserved. 掲載されている仕様は予告なしに変更される場合があります。Silicon Graphicsの社名、SGI、SGIのロゴマークおよびIRIXは米Silicon Graphics, Inc./日本SGI株式会社の登録商標です。Infinite Media Libraryは日本SGI株式会社の登録商標です。XFSはSilicon Graphics, Inc./日本SGI株式会社の商標です。Mac、QuickTimeおよびMacintoshはApple Computer, Inc.の登録商標です。JavaはSun Microsystems, Inc.の商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。その他他のデータシートの中で挙げられたその他の商標については商標の所有者に所有権が属しています。08/02

日本SGI株式会社

〒150-6031 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー

TEL : 03-5488-1811 (大代表)

東京本社 TEL : 03-5488-1800 (代表) FAX : 03-5420-7030



TEL : 0120-161-086 FAX : 0120-161-087

西日本支社 TEL : 06-6343-6700 (代表) FAX : 06-6343-6713

中部支社 TEL : 0565-35-2561 (代表) FAX : 0565-35-2189

つくば東北事業所 TEL : 0298-58-1551 (代表) FAX : 0298-58-1071

テクニカルサポートセンター TEL : 045-682-3700 (代表) FAX : 045-682-0850